

沖縄

翁長後継の玉城候補が大勝

安倍政権を追い詰め倒そう



上：県民の意思が玉城候補を大勝に導いた  
右：辺野古ゲート前に象徴される断固たる県民運動が勝利の基礎にある



沖縄県知事選挙が九月三十日、投票開票され、故翁長前知事の後継候補で「オール沖縄」陣営が支持した玉城デニー候補が勝利した。安倍政権はこれまで、辺野古新基地建設を強行しつつ、県への一括交付金の減額や、名護市を経由せず基地予定地に補助金を交付するなど、なり振り構わぬ政策を押し進めてきた。

故翁長氏の得票を上回る三十九万六千六百三十二と、復帰後の知事選では過去最多の支持を得た。佐喜真候補に約八万もの差を付けての、まさに「大勝」である。

この狙いは、台頭する中国が自国に取って代わることを許さないというだけでなく、アジア市場を収奪して自国経済を再建しようというものである。

安倍政権を抱える難題は、ますます増している。トランプ米政権は、わが国を標的とする通商要求を強め、「日米物品貿易協定」(TAG)交渉の開始が決まった。輸出産業の「本丸」である自動車も、そのうち外にはいられない。財界、支配層は早晩、日米関係をめぐる深刻なジレンマに直面しよう。

佐喜真候補は、前回は「自主投票」であった公明党の推薦を得、菅官房長官や小泉衆議院議員らを相次ぎ投入、二階幹事長を経由しての企業・団体への締め付けなど、組織を生かした選挙戦を繰り広げた。政策的には、名護市辺野古への基地建設に言及せず「争点隠し」を行いつつ、「携帯電話料金の四割引き下げ」「玉城候補に隠し子」などの卑劣なデマ宣伝で支持をかすめ取った。

米世界戦略に打撃 国際情勢は激動と激変のさなかにある。米国は、数度にわたる中国への制裁措置をはじめとする「貿易戦争」、南シナ海における軍事的挑発、「人権」を掲げた干渉と制裁策動など、米国の中国への攻勢は、経済・政治・軍事の全面的なものとなっている。

3選安倍首相の出鼻くしく 自民党総裁選で三選された安倍首相、政府は、沖縄県知事選挙の大敗で出鼻をくじかれ、大打撃を受けた。

安倍政権を打ち倒す上で、戦略的にもっとも頼りになるのは、本土での労働運動の強化である。労働運動が職場の要求を基礎に、国の進路をめぐる課題でも、保守層を含む広い戦線をつくって闘い前進する好機である。

さらに沖縄県民は、新基地建設の賛否を問う県民投票を実現するための闘いを進めている。われわれは、新基地を拒否する意思を再度示した、沖縄県民の闘いに敬意を表する。

米「ニューヨーク・タイムズ」が社説で、「日米両政府は妥協案を見いだすべき」と、新基地計画の再考を促す異例の主張をせざるを得ないほどである。

このトランプ政権に追隨する限り、安倍政権が策動する「対中関係改善」はあらかじめ「限界付き」である。農産物のさらなる市場開放要求は、米日両政府に対する地方の不満をさらに増大させる。

内容や程度はさまざまだが、安倍政権の悪政に対する怒りと不満は、全国、とくに地方に満ちている。それは、自民党総裁選挙での石破元幹事長への「支持」という形で噴出した。最近の内閣改組は政権支持率の上昇につながるどころか、逆に下落した。「ポスト安倍」をにらみつつ、自民党内外で種々の「抵抗」は強まらざるを得ない。



第1513号  
2018年  
10月5日  
定価1部300円  
定期購読  
半年 5400円  
1年 10000円  
振替番号  
00140-5-95121

日本労働党中央委員会  
発行所  
労働新聞社  
編集発行人  
高橋 信

本社 〒102-0072  
東京都千代田区飯田橋4丁目  
1-5 ボザール飯田橋2階  
電話 03-3265-6506(代)  
FAX 03-3265-6507

北海道支社 〒001-0022  
札幌市北区北22条西5丁目  
1-13  
電話 011-600-3232

関西支社 〒532-0011  
大阪市淀川区西中島5-8-29  
チサン第3新大坂501号  
電話 06-6586-9920

九州支社 〒812-0042  
福岡市博多区豊1-3-8-302  
電話 092-483-1344

労働党ホームページ  
http://japanlabor.party/  
Eメールアドレス  
shinbun@japanlabor.party

主な記事

解説/日米TAG交渉許すな	2面
気になるデータ(6)	3面
熊本/とんでもないライドシェア	4面
神奈川/原子力空母母港化十年で集会	5面